

困った時の相談窓口

【篠山市内】

相談の内容	相談窓口	電話	時間	その他
人権相談 女性のための悩み相談	人権推進課 (第2庁舎 1階)	552-6926	9:00~ 17:00	身近な相談窓口として、 人権や生活上のさまざまな 相談をお聞きします。 必要に応じて関係機関へ つなぎます。 月～金曜日 (祝日・年末年始を除く)
総合生活相談	畑ふれあい館	552-4401	9:00~ 17:00	
	日置ふれあい館	556-2850		
	西紀ふれあい館	593-0093		
	味間ふれあい館	594-1003		
古市ふれあい館	594-1001			
ふくし総合相談窓口	地域福祉課	554-2511	8:30~ 17:15	どこに相談すれば良いのかわ からない等、どんなささいなこ とでも結構です

【兵庫県立男女共同参画センター】

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30~12:00 13:00~16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00~18:40 9:20~16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談 (男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日 17:00~19:00	
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (要予約)	078-360-8554	毎月第1~4木曜日 10:00~13:00	
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月～土曜日 9:00~17:00	
不妊・不育専門相談 (助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日 10:00~16:00	
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日 14:00~17:00	
思いがけない妊娠(SOS) (助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日 10:00~16:00	
	メール相談 http://ninshinsos-sodan.com		随時受け付け 返信は原則として1週間以内	

【その他(DV等)】

相談先	電話番号	実施日時等
兵庫県立女性家庭センター (兵庫県配偶者暴力相談支援センター)	078-732-7700	毎日9:00~21:00 緊急時は24時間対応しています
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談	078-371-7830	毎日 24時間
神戸地方法務局女性の人権ホットライン	0570-070-810	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:00~16:00

篠山市男女共同参画センター情報紙

フィフティだより

～一人ひとりが輝く社会をめざして～

第42号 平成30年10月

Sasayama City
Gender Equality Center



【発行】
〒669-2397 兵庫県篠山市北新町 41
篠山市役所第2庁舎1階
篠山市市民生活部人権推進課
電話:079-552-6926
FAX:079-554-2332

政策・方針決定過程への女性の参画 より暮らしやすい社会のために

国会議員に占める女性の割合は、平成30年2月現在、衆議院 10.1% (47人) で、国際比較すると、193か国中 158位 (30年6月現在) となっています。暮らしやすい社会を実現するためには、年齢や性別、立場の違う様々な意見を政策に反映することが重要ですが、政治分野における女性の参画は依然として低い水準にとどまっています。

このような中、平成30年5月23日に男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指した「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が交付・施行されました。

わたしたちが抱える様々な困難や制約が、社会の課題として認識され、解決のための取り組みが行われるため、女性の参画拡大がますます求められています。



篠山市の女性の公職参加状況 (平成30年4月1日時点)

- 市議会議員定数 18人、うち女性議員 4人、割合 22.2% (22.2%)
- 審議会等委員総数 1109人、うち女性委員数 251人、割合 22.6% (23.2%)
- 市職員のうち管理職 73人、うち女性管理職 11人、割合 15.1% (16.4%)
(カッコ内は昨年度の割合)



篠山市あいさつ運動市民委員会の様子

【篠山市目標値】

- 審議会等 30% (平成33年度)
- 市職員管理職 20% (平成32年度)

ヘルシークッキング教室（男性版）

男性の家庭生活への参画



篠山市では、おおむね60歳以上で料理初心者の男性を対象に、「ヘルシークッキング教室（男性版）」を行っています。毎年、10回シリーズで、3月～4月に参加者を募集。今年度は「若いときは、料理はしたことがなかった」とおっしゃる、23人が参加されています。

初回の教室は「料理の基本をマスターしよう～朝ごはんを作ろう～」というテーマで、おいしいご飯の炊き方やみそ汁の作り方を学ぶ内容でした。

第5回となった9月のテーマは「血管をしなやかに～セットで食べよう 魚と野菜～」で、「焼きさばの酢じょうゆ漬け」にチャレンジ。計量スプーンやグリルの使い方についての丁寧な説明もあり、初心者の方でも安心して参加できるよう工夫されていました。

また、実習の前には、「油」と「脂」の違いについての講義があり、栄養士から、「DHA や EPA は酸化されやすいので、新鮮な魚を選び、抗酸化作用のあるビタミンたっぷりの野菜と一緒に摂ることが大切です」といったお話も伺いました。

女性の就業者数が増加し、第1子出産前後の妻の就業継続率が上昇する中、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」「どちらかという賛成」と答える人の割合は減少してきています。しかし、平成28年の日本の6歳未満の子供をもつ夫の家事・育児関連時間に費やす時間（1日当たり）は83分と、他の先進国と比較しても低水準であることがわかっています。

23人の方がクッキングに参加されたきっかけは、「妻からすすめられて」や「ちょっと、できるようになっておきたいと思って」など様々ですが、みなさんのように、家事に積極的に参画される男性が増えるなど、男性の家庭への参画が進むことで、家族がともに助け合いながら心豊かな生活をおくれるようになることを願っています。

★6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり、国際比較）



内閣府「男女共同参画白書」（平成30年版）より引用



第5回のメニュー

- ・ごはん
- ・焼きさばの酢じょうゆ漬け
- ・冬瓜と春雨のスープ
- ・なすびのさんしょ和え

さんきゅうパパプロジェクト



国立社会保障・人口問題研究所の調査によると、平成22年の夫婦の理想の子供数の平均は2.42人、出生児数は1.96人で、理想と現実の間に差が見られます。夫婦が理想の子供数を実現するため、女性への育児負担の偏りを減らし、誰もが子供を産み育てやすいと思える環境を整えていくことが、少子化対策としても、固定的役割分担意識の解消の観点からも重要です。

こうした中、「さんきゅうパパプロジェクト」として、配偶者の出産直後の男性の休暇取得を促進し、男性の家事・育児への参画を促す取組がスタートしました。「さんきゅう」にはパパが「産休」を取ることで、産んでくれた妻に、生まれてきてくれた我が子に、「ありがとう」を言おう、という意味が込められています。

平成27年6月、「さんきゅうパパプロジェクト」のキックオフシンポジウムが開催され、安倍内閣総理大臣にもその取組が報告されました。内閣府は、男性が、配偶者の出産後2か月以内に取り半日または1日以上以上の休暇の取得率を平成32年に80%にすることを目標に、これからパパ・ママになる方を主なターゲットにした啓発活動を今後も展開していく予定です。

（平成28年版 男女共同参画白書より引用）

男女共同参画研修会



「ともに暮らす」を考えよう ～家庭と地域の男女共同参画から～

どうすれば、家庭で、地域で、もっと私らしく暮らすことができるのでしょうか。性別のハードルを超えるには、何から始めればよいのでしょうか。身近な暮らしの一コマから、「ともに暮らす」を考える研修会を開催します。

日時 平成31年 **3月16日(土)** 13時30分～15時
 場所 篠山市民センター2階 多目的ホール
 講師 栗木 剛 さん (mottoひょうご事務局長)
 申込 不要、当日会場に直接お越しください
 託児 有り、3月7日(木)までに下記まで申し込みをお願いします
 問合せ 篠山市民生活部人権推進課
 電話/552-6926 ファクシミリ/554-2332

※ 7月に大雨により中止となりました研修会を、振替実施します。
 ※ 手話通訳あります。

